

## 施設消毒手順書

### <目的:施設を介した二次感染の防止>

施設内でヒトの手の触れる可能性がある物は全て感染経路になるため、施設内の直接手で触れる機会がある場所全てを消毒する。

### <消毒方法>

#### ■消毒場所

ドアの取っ手やノブ、手すり、スイッチ、電話、机などの共有部分を消毒。

#### ■ウイルスの除菌に使用する消毒剤

①アルコール(消毒用エタノール(70%)

②塩素系漂白剤(主成分が次亜塩素酸ナトリウムのもの)を、濃度 0.05%になるように調整したものを。例:家庭用塩素系漂白剤の製品の濃度が6%の場合、水 3L に液を 25ml 入れる。

#### ■消毒方法

##### 1. 準備

①アルコール:原液のまま容器に入れる。

②塩素系漂白剤:上記の方法で正しく希釈した消毒液を作る。作成後直ちに使い切る。消毒液を吸い込まないようにする。

##### 2. 消毒方法

マスク、手袋を着用し、換気しながら行う。

①アルコール:消毒液をペーパータオル等に含ませ、消毒場所を一方向に向かって拭く(ウイルスを拭き取るように)。①の消毒液は、その後の拭き取りは不用。拭き取った後のペーパータオル等は、ビニール袋に廃棄する。

②塩素系漂白剤:消毒液を吸い込んだり、直接手につけたりしないように気をつけること。消毒液をペーパータオル等に含ませ消毒場所を一方向に向かって拭いた後、から拭きする。金属部分は腐食する可能性があるため、水拭きする。拭き取った後のペーパータオル等はビニール袋に廃棄する。

##### 3. 消毒後の注意

消毒が完了したら、マスクや手袋を外し、手をよく洗う。手荒れがあるとウイルスが残りやすいと言われているため、ハンドクリーム等で手荒れを防ぐことも重要です。

#### 【用意する物品】

消毒液 使い捨て手袋 マスク ペーパータオル 廃棄するためのビニール袋